

令和7年度 盛岡市 都市景観賞

2025 Morioka Urbanscape Prize

令和7年度盛岡市都市景観賞 寸評序文

「まちは 人々のいとなみと交わり でできている」

都市景観とは。初秋の盛岡市内を賞選考の現地審査に歩きながら、考えました。盛岡市都市景観賞の受賞個所は191件に及びます。私自身も20年近い関わりとなり、ひとつの解を見つけました。それは、都市景観には人と人との交わりが欠かせない、ということです。

今年度の都市景観賞3件は、いずれも人々のいとなみが支えています。中津川沿いを愛するデザイナーは川を見下ろす場所にカフェを構え、廃棄物処理施設の経営者は「地域で交流できる施設を」とステーションをつくり、職員たちは常にホウキとテリトリで施設内のゴミを集める。中央公園ではテラスや保育園で芝生を囲み、子どもやおとも笑いながら話しができる空間ができている…人々のいとなみと交わりを通じ、言葉を発しない建物たちが人々の心を豊かにしているのです。賞を選考する私たち自身、新たな潮流のように思え、大きな気づきをいただきました。ありがとうございました。

さて、世の中はどんどん変わり先々が見えないように思えます。が、私たちの日々のいとなみは変わりありません。盛岡がより「盛岡らしい」街となるよう、一緒に作り続けましょう！

盛岡市景観形成推進委員会
委員長 金沢 滋



minä perhonen Morioka (ミナ ペルホネン モリオカ)

koota joki/matka (コータ ヨキ/マトカ)

◀ koota joki/matka
(コータ ヨキ/マトカ)

▲ minä perhonen Morioka (ミナ ペルホネン モリオカ)

旧奥州街道沿いの紺屋町番屋の近くに、リノベーションされた町屋づくりの店舗があります。むき出しの無垢材の梁や曲線で構成された壁の間の通路に入り、中庭を抜けて、中津川の流が見えるカフェへ。中庭は針葉樹が植えられ小さな北国の森のよう。中津川を見下ろす2階建てのカフェは、レンガの白壁と2階の木調とのツートンがまるで北欧のような景観です。

これまであまり意識されていなかった「中津川から見える風景」

を大切にしたい、というオーナーの気持ちが伝わります。店舗とカフェを土間のような通路と明るい中庭でつなげるつくりに加え、室外機や設備の露出を木板で遮蔽する気遣いも。老若男女が来店することから、審査委員からは「訪れた人たちを受け入れてくれる優しさを感じる」との評価も。歴史ある空間にあって、新しい盛岡の都市景観にふさわしいと選定しました。



株式会社齊藤興業 elb (エルブ)



新しい施設が並ぶ北飯岡の一角に、アメリカンスタイルのポップな標識が見えます。古紙などリサイクルできるものを持ってきた人は誰でも入れるリサイクルステーションが新しくできました。廃棄物中間処理施設なのですが、従来のイメージとは違うモダンな色彩と統一感のある施設です。入口から一直線に管理棟まで貫く動線と、壁際には緑地帯。そして奥には木造でありながら大空間を片側に構える事務所が。背景の山並みが見通せる仕掛け

を組み込んだ配置としています。さらに評価のポイントは「地域に受け入れられる廃棄物の施設を」という強い経営者の思いから、地元町内会に働きかけ、地域住民に日頃から施設を利用してもらい、災害時に笑って過ごせるようにと屋根に太陽光パネルを設置し、飲料水をストックするという形に表れました。地域に開かれる廃棄の施設という、経営者の信念を含め、新しく頼もしい場所となるよう、期待を込めての選定となりました。



盛岡市中央公園 BeBA TERRACE (フェーズ1)



盛岡市本宮の中央公園ビバテラスには近頃、平日でも多くの人々が集います。行政主体ではなく、民間事業体が公園敷地を借りて運営する公園 PFI 事業としてスタートして5年目。3段階ある全体計画のうちフェーズ1として6建築群が揃い、評価の対象となりました。この建築群とは、保育園、産直棟、飲食棟、まなび棟、こども図書館などの6つ。芝生広場が真ん中に広がり、公園ランドスケープの一部となるよう、やや統一された素材を使い、遠景

の山並みと合う切妻屋根、どんぐりの森に合う木板の外壁、既存の森と芝生を取り込んだ風景から「都会と自然の中間地点にあるような空間」「仕事に疲れたら、ちょっと足を伸ばせる場所」という評価もありました。「これが今の盛岡ですと、自慢したくなる一角」(審査員)であり、公園をめぐる景観づくりのひとつの見本として、より多くの方々に訪れてほしいとの気持ちを込め、選定しました。



●令和7年度 盛岡市都市景観賞 受賞物件（敬称略）

名称	番号	所在地	建築主等	設計者	施工者	完成年
minä perhonen Morioka （ミナ ペルホネン モリオカ） koota joki/matka （コータ ヨキ/マトカ）	192	紺屋町	森 理彦 株式会社ミナ 代表取締役 田中 景子	オオツカヨウ建築設計	有限会社岩井沢工務所	令和6年 （改修） （新築）
株式会社齊藤興業e1b（エルブ）	193	北飯岡	株式会社齊藤興業 代表取締役 齊藤 義成	フリーダムデザイン 建築設計事務所	株式会社フリーダムデザイン	令和7年
盛岡市中央公園 BeBA TERRACE （フェーズ1）	194	本宮	株式会社みんなの未来計画 代表取締役 濱田 和人 タヤマスタジオ株式会社 代表取締役 田山 貴紘 株式会社PUBLIQ 代表取締役 長澤 幸多 株式会社MDS 代表取締役 小松 秀弘	atelier meie 一級建築士事務所 株式会社キタバ・ ランドスケープ	ウチノ建設株式会社 有限会社空創舎 株式会社互大 東野建設工業株式会社 株式会社仙北造園	令和2年 ～ 令和7年

●応募状況と表彰件数

応募者数	建築主等	審査対象件数	受賞件数
19人	13件	11件	3件

●表彰基準

「盛岡市都市景観賞実施要綱第4」より	
都市景観賞の対象は、完成又は改修後おおむね5年以内の建築物や工作物等（花壇などを含む）、若しくは活動であり、景観の形成に寄与するものとする。かつ、次の①及び②に該当し、加えて③以降の各号いずれかに該当するものとする。	
①公共の場から見ることができ、又は一般に公開もしくは開放されているものであること。	⑤自然景観に調和しているものであること。
②暫定的なものでないこと。	⑥歴史的景観を継承しているものであること。
③敷地内に緑地又は広場の空間を適切に配置しているものであること。	⑦地域住民や団体が、継続的に取り組んでいる活動であること。
④周辺地域に調和しているものであること。	

●盛岡市景観形成推進委員会名簿（50音順・敬称略）

阿部 忠（岩手県土木整備部都市計画課 景観まちづくり課長）	内田 信平（岩手県立大学盛岡短期大学部 准教授）
大櫻 薫（公益財団法人盛岡観光コンベンション協会）	大瀧 英知（特定非営利活動法人いわて景観まちづくりセンター 理事）
金沢 滋（岩手・木質バイオマス研究会顧問）	杉本 吉武（アートディレクター）
高橋 浩（国土交通省東北地方整備局岩手河川国道事務所 計画課長）	鷹觜 紅子（有限会社鷹觜建築設計事務所 代表取締役）
竹村 育貴（岩手デザイナー協会会長）	中居 真一（株式会社中居都市建築設計 代表取締役）